

「羽田発着枠政策コンテスト」による萩・石見空港東京線の
2往復運航継続に関する市長コメント
(萩・石見空港利用拡大促進協議会 会長コメント)

本日、国土交通省から「羽田発着枠政策コンテスト」による萩・石見空港東京線への発着枠の配分について、令和11年3月24日まで継続する旨の発表がなされ、萩・石見ー東京（羽田）路線の2往復運航の継続が決定いたしました。

2往復運航継続にあたり、国土交通省、関係国会議員、島根県、全日本空輸株式会社、地元経済界の皆様をはじめ関係方面のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

また、この間萩・石見空港をご利用いただきました皆様には改めて感謝申し上げます。

萩・石見空港利用拡大促進協議会では、萩・石見空港東京線利用促進対策会議を中心として、圏域市町が行った首都圏関係機関との都市間交流を促進する取組や、地域資源を活用した持続可能な地域づくりにつながる航空需要の創出の取組等、将来の需要に繋がる取組を行ってきたところです。

萩・石見空港にとって、この2往復運航が継続されるという知らせを受け、今後も、島根県、全日本空輸株式会社と萩・石見空港利用拡大促進協議会が一体となり、東京線を活用した地域の活性化、そして路線の維持・充実に改めて取り組んでまいります。

令和7年1月21日

萩・石見空港利用拡大促進協議会 会長 益田市長 山本 浩章

(参考)

- 1 今回の政策枠コンテストによる運航期間 令和11年3月24日まで継続
- 2 国土交通省プレスリリース 別紙のとおり
- 3 周知等について 令和7年1月21日（火）15:30～
益田市役所 本庁舎 正面玄関横にて懸垂幕を掲揚
〔この他の場所にも横断幕等の掲示を予定しています。〕
萩・石見空港、益田商工会議所等

(問い合わせ先) 萩・石見空港利用拡大促進協議会事務局 ☎ 0856-23-0990
(益田市産業経済部観光交流課空港対策室)



令和7年1月21日
航空局航空事業課

羽田発着枠政策コンテストに係る取組の評価結果について

羽田＝鳥取、羽田＝石見、羽田＝山形、羽田＝大館能代、羽田＝三沢、羽田＝下地島の6路線について、4年間（令和11年3月24日まで）を前提として、羽田発着枠の期間を継続します。

令和6年12月6日に開催しました「羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会」において、有識者による評価を行ったところ、下記いずれの対象路線についてもその取組に一定の効果があると認められたことから、4年間（令和11年3月24日まで）を前提として、現行の配分を継続することとしました。

なお、令和11年3月までの間、毎年、各路線における取組の進捗状況のモニタリングを行うこととします。

対象路線	空港	運航会社	1日当たりの計画便数
羽田＝鳥取路線	鳥取空港	ANA	5
羽田＝石見路線	石見空港	ANA	2
羽田＝山形路線	山形空港	JAL	2
羽田＝大館能代路線	大館能代空港	ANA	3
羽田＝三沢路線	三沢空港	JAL	4
羽田＝下地島路線	下地島空港	SKY	1

<お問い合わせ先>

航空局 航空ネットワーク部 航空事業課 運崎、金子

電話 03-5253-8111(内線 48502、48516) 、03-5253-8706(直通)

「羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会」

委員名簿

委員(50音順、敬称略)

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 安藤 和代 | 千葉商科大学サービス創造学部教授 |
| 大橋 弘 | 東京大学大学院経済学研究科教授 |
| 加藤 一誠 | 慶應義塾大学商学部教授 |
| 竹内 健蔵 | 東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授 |
| 花岡 伸也 | 東京科学大学環境・社会理工学院融合理工学系
教授 |
| 樋口 容子 | (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 副会長 |
| 矢ヶ崎 紀子 | 東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授 |